

(別紙3)

環政起第1274号-1

令和2年8月28日

米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター

公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団

理事長 伊澤 勇人 様

米子市長 伊木 隆 司

令和元年度「米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター」  
指定管理者業務評価書

施設名	米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター
施設所管課	市民生活部 環境政策課
指定管理者名	公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日(4年目)

【モニタリング終了後の総評】・事業計画書、収支予算書と実際の業務内容を比較して記入する。

・毎月の「運営状況チェック表(自己評価)」、半年ごとの「モニタリング評価表」で  
確認した内容等を記入する。

【施設所管課】

設置目的を達成するため、事業計画に基づき事業を実施し、利用者から高い評価を得た。  
令和元年度は、動物画家マツダケンの絵画展、来館者によるカモの総選挙など利用者の関  
心を引く数多くの事業を実施し、集客に努めた。

学習活動として、野鳥の専門家が講師として、自然観察会や手作り自然教室等定例のイベ  
ントを実施し、利用者の自然環境に対する意識の向上を図った。

地域の住民やボランティア団体と協力して施設の特性を活かした事業を実施し、施設の多  
面的な利用を促し、地域の要望にも貢献した。

施設管理としては、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策に  
ついて迅速かつ丁寧に実施した。また、夏期の熱中症対策及び新型コロナウイルス感染症  
対策を適切に実施した。

総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。

【第三者評価】

専門知識を持った指導員の適切な管理下で、水鳥が生息する環境を良い状態で維持できている  
ことが高く評価できる。生態系調査にも取り組み、調査研究データを基に環境の変化にも対応し

た管理が実施されている。現在ある水鳥公園の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐことが、水鳥公園の使命である。

また、水鳥公園の環境を活かした自然観察会等環境学習を重点的に実施していることも高く評価する。

【今後の業務改善方策等の特記事項】 ※評価C及びDがないため記載なし。

【施設所管課】

【第三者評価】

(別紙2)

令和元年度下期「米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター」モニタリング評価  
表〔平成31年4月～令和2年3月〕

施設名	米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター	
施設所管課	市民生活部 環境政策課	
指定管理者名	団体名	公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団
	所在地	米子市彦名新田 665
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	
選定方法	非公募	
施設の設置目的	市民の自然環境に関する意識の向上を図るため。	
主な実施事業	設置目的を達成するため、下記の事業を行う。 (1)野生鳥類等の観察並びに野生鳥類等及び自然環境に関する学習活動のための利用に供すること。 (2)野生鳥類等及び自然環境に関する資料の収集及び展示を行うこと。 (3)野生鳥類等の生態に係る調査及び研究を行うこと。 (4)前3号に掲げるもののほか、市民の自然環境に関する意識の向上を図るために必要な事業。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認 (55点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査により確認：効率的な人員配置により業務を行っている。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料等で確認：資質向上に努めている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料等で確認：HPや公園だよりの活用、マスコミへの情報発信を積極的に行っている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料等で確認
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	A	資料等で確認：利用者からの意見に適切に対応している。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認

(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料等で確認：基準で定められた業務以外に、自主的に清掃・維持業務を実施している。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査、資料等で確認：建物の機能維持のため、適切な営繕を実施している。
4 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料等で確認 運営上得た個人情報は施錠できるロッカーで保管している。
5 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	資料等で確認：現状に即した対策を行っている。
<b>II サービスの質の評価 (20点)</b>			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	資料等で確認：利用者アンケートではスタッフの親切かつ丁寧な対応に対し高い評価を得た。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	立入調査により確認
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	資料等により確認：新規事業及びイベントを多数実施し、市民の自然環境意識の向上を図った。
4 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	資料等で確認：施設の特性を活かし、野鳥等に関する展示、環境学習、調査研究等が実施されている。
<b>III サービスの安定性の評価 (15点)</b>			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料等で確認
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料等で確認
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料等で確認

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>設置目的を達成するため、事業計画に基づき事業を実施し、利用者から高い評価を得た。</p> <p>令和元年度は、動物画家マツダケンの絵画展、来館者によるカモの総選挙など利用者の関心を引く数多くの事業を実施し、集客に努めた。</p> <p>学習活動として、野鳥の専門家が講師として、自然観察会や手作り自然教室等定例のイベントを実施し、利用者の自然環境に対する意識の向上を図った。</p> <p>地域の住民やボランティア団体と協力して施設の特性を活かした事業を実施し、施設の多面的な利用を促し、地域の要望にも貢献した。</p> <p>施設管理としては、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策についても迅速かつ丁寧に実施した。また、夏期の熱中症対策及び新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施した。</p> <p>総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。</p>	<p>合計点 ( 70 ) 点 / ( 90 ) 点 × 100 = ( 77 )</p> <p>平均点 ( 3.9 ) 点</p> <p>※昨年度 合計点 77 点、 平均点 3.9 点</p>
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分
- A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）
  - B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）
  - C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）
  - D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成31年4月～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4月～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	317	311	6	101.9(%)	
施設利用者数	22,830	20,088	2,742	113.6(%)	
施設稼働率	86.8	85.2	1.6	101.9(%)	
事業開催数	106	98	8	108.2(%)	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成31年4月～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4月～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	1,924,300	1,628,960	295,340	118.1(%)	
指定管理料	42,166,000	41,809,000	357,000	100.9(%)	
自主事業収入	0	0	0	0(%)	
その他	607,597	530,157	77,440	114.6(%)	607,597円 (内訳) イベント収入 164,470円 財団繰入金 443,127円
合計	44,697,897	43,968,117	729,780	101.7(%)	

(2) 支出

項目	本年度〔平成31年4～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	32,492,822	32,235,598	257,224	100.8(%)	
消耗品費	1,088,095	1,599,493	-511,398	68.0(%)	実績減
光熱水費	2,050,278	2,070,309	-20,031	99.0(%)	
委託料	5,036,819	4,821,036	215,783	104.5(%)	

租税公課	1,992,410	1,623,500	368,910	122.7 (%)	消費税増税のため
修繕費	350,312	399,939	-49,627	87.6 (%)	
その他	1,687,161	1,218,242	468,919	138.5 (%)	米子水鳥公園パンフレット作成のため
合計	44,697,897	43,968,117	729,780	101.7 (%)	

### ※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成31年4 ～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4 ～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)		備考
① 事業収支	0	0	0	0.0 (%)	
② 利用料金比率	4.3%	3.7%	0.6%	116.2 (%)	
③ 人件費比率	72.7%	64.1%	8.6%	113.4 (%)	
④ 外部委託費比率	11.3%	11.0%	0.3%	102.7 (%)	
⑤ 利用者当たり管理コスト	1,958	2,189	-231	89.4 (%)	
⑥ 利用者当たり自治体負担コスト	1,847	2,081	-234	88.8 (%)	

#### ① 事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

#### ② 利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

#### ③ 人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

#### ④ 外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

#### ⑤ 利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

#### ⑥ 利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	備考
①自己資本比率	99.4	99.4	99.3	99.0	99.2	
②流動比率	698.1	622.7	496.1	411.0	460.3	
③固定長期適合率	96.1	97.3	97.3	96.0	96.2	
④総資産経常利益率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)各数値を見る限り、経営状況に問題なし。					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

〔公益法人会計の場合：固定資産 ÷ (固定負債 + 正味財産計) × 100〕

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$



【公益法人会計の場合：正味財産増加額÷総資本×100】

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
		資本金	600
		利益余剰金	200
		純資産合計	800
資産合計	2,000	負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

※5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

利用者からの苦情は少なかったが、ネイチャーセンター老朽化を受けて指定管理者で対応を行った。

- ① 6月にヌカカが園内に多く発生したことを受け、市の指示により来館者への注意喚起を行った。  
さらに、ネイチャーセンター入口に市から提供を受けた虫よけ剤及び虫よけのための扇風機を設置した。
- ② ネイチャーセンターの老朽化に伴い、玄関スロープの外れた板の修繕やネイチャーセンター周辺の遮蔽壁の改修を行った。また、市が発注した正門の看板の修繕に伴い図案を提供した。
- ③ 新型コロナウイルスが国内で流行したことを受け、市と相談の上、アルコール手指消毒液、靴消毒液（パコマ）、次亜塩素酸ナトリウム溶液での物品の除菌などを用途に従い館内で使用した。また、マスクの提供の準備、手の洗い方の掲示などを行い感染症拡大予防に努めた。

## 6 利用者アンケートの結果

- 楽しかったです。交通の便を良くしてほしい。
- カワセミの観察壁に子どもが観察できるように足元に台を置いてほしい。
- 館内の様式トイレ便座に温度調節をつけてほしい。
- 入館料支払いに電子マネーが使えると便利。
- 小動物と触れ合ってみたい。カエルでも小鳥でも。
- クイズラリーが楽しかった。(6人)  
クイズラリーで子供たちが自分で答え探しや調べることができ喜んでいました。
- イベントのどんぐりコマ回しが面白かった。メダルがもらえてうれしかった。またしたい。
- イベントの消しゴム作りが楽しかった。
- パズルが楽しかった。(2人)
- 親子で楽しめた。(2人)
- 色々な遊びや色々な鳥の観察ができ楽しかった。(8人)
- 癒された。
- 望遠鏡でハクチョウの動きを観察でき楽しかった。
- 鳥だけでなく身近な植物(どんぐりなど)、昆虫、顕微鏡などとても楽しめて良かった。勉強になる。
- 久々に来ました。以前来た時と展示が変わっており楽しめた。とても楽しかった。
- 雨が降り外で散策ができず残念だったが、2歳の娘も鳥や虫を見たりパズルやうちわ作りを楽しんでいた。  
また来ます。
- 鳥や動物が好きで、色々な展示がしてありうれしかった。また来てみたい。
- 情報誌で水鳥公園にミコアイサがいることを知り今日、出会えて良かった。カワセミにも出会えた
- 解説員の方の説明が良かったです。